講座 1	戦間期ヨーロッパにおける民主制（デモクラシー）の崩壊	オンライン併用
	【会場定員】140名　【オンライン定員】100名　【受講料】２年会員 13,380円　１年会員 15,060円　聴講生 20,080円	
	【政治・経済・社会】政治・社会 講座　【時間】毎回13時00分～14時30分（計12回）	
概要	世界中で強権的な体制が将棋倒しのように崩れ、あるいは抑圧的な多民族帝国が次々と消滅して、新たな民主制国家が誕生する、そんな事例は約100年前のヨーロッパに数多く見られました。しかし、新たに生まれた民主制の多くは1920～30年代に崩壊あるいは変質して、非民主体制が再びこの地の大半を支配するようになりました。今現在の世界情勢に思いをはせながら過去の経験を学びます。比較の視点から、同時期の日本の経験もとりあげます。	

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8（水）	川崎市生涯学習プラザ	総論	東京大学名誉教授 馬場 康雄
2	10/22（水）		イタリア　―民主制形成途上の挫折―　（１）	
3	10/29（水）		イタリア　―民主制形成途上の挫折―　（２）	
4	11/19（水）		ハプスブルク帝国の継承諸国家がたどった道　（１）	中央大学教授 古賀 光生
5	11/26（水）		ハプスブルク帝国の継承諸国家がたどった道　（２）	
6	12/3（水）		ドイツの民主制（「ヴァイマル共和国」）の生と死　（１）	東京大学名誉教授 平島 健司
7	12/10（水）		ドイツの民主制（「ヴァイマル共和国」）の生と死　（２）	
8	12/17（水）		ドイツの民主制（「ヴァイマル共和国」）の生と死　（３）	
9	1/7（水）		スペイン　―第二共和制から内戦へ―　（１）	中央大学名誉教授 若松 隆
10	1/14（水）		スペイン　―第二共和制から内戦へ―　（２）	
11	1/21（水）		日本の1920～30年代　―「大正デモクラシー」失墜の経験をめぐって―（１）	成蹊大学教授 空井 護
12	1/28（水）		日本の1920～30年代　―「大正デモクラシー」失墜の経験をめぐって―（２）	